

かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第16号 平成29年3月発行



図書館で ラ・フォル・ジュルネをもっと楽しもう！



新潟市の春の風物詩、クラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ」音楽祭。今年は、江南区文化会館で**プレ公演が初開催！**

同館内にある亀田図書館も館内展示で、同音楽祭とその発祥の地にして新潟市の姉妹都市フランス・ナント市を大特集！

今年は亀田図書館を使って、ラ・フォル・ジュルネをより深く楽しんでみませんか？

図書館の展示内容をご紹介します！

☆プレ公演での演奏曲が収録された CD

子どもも大人もココロおどる、楽しい楽曲たち！

○ハチャトゥリアン：仮面舞踏会よりワルツ

情熱的でダイナミックな曲です。浅田真央選手など多くのフィギュアスケート選手に使用されていることでも有名。

○ベートーヴェン：交響曲第7番第4楽章

現代でも演奏されることの多い、リズム重視の盛り上がる曲。最後を飾る第4楽章は熱狂的なクライマックスが待っています。

☆その他の演奏曲が収録された CD

行く前に予習したり、行った後に余韻に浸ったり。

バッハ、リスト、ショパンなどなど。展示以外にも市立図書館で所蔵している場合があります。お気軽にお問い合わせください。

☆クラシック、フランス関連本、ナント市関連展示

クラシックの知識や楽しみ方を学べる本、ナント市出身のジュール＝ヴェルヌを代表とするフランス文学など展示しています。

♪ ラ・フォル・ジュルネとは

1995年にナント市で誕生した、今までのクラシックの常識を覆したまったく新しい音楽祭。一流の演奏を低料金でハシゴしながら気軽に楽しめるのが特長です。

新潟市では2010年から開催。和風建築とクラシック音楽との融合、「食」と「花」も満喫できるお祭りムードあふれる会場など魅力いっぱいです。

今年は「ラ・ダンス 舞曲の祭典」をテーマに、4月28日（金）から30日（日）まで行われます。

○●江南区文化会館プレ公演●○

4月15日（土）音楽演劇ホール

●11:00～11:45（0歳～）

●18:00～19:00（6歳～）

2公演

料金：1,000円（小学生以下500円）

※昼公演は3歳未満ひざ上鑑賞無料（大人1人に対し1人）

11:00からの回は年齢制限なしの**0歳からのコンサート**。お子さんのコンサートデビューにピッタリ♪
楽器体験や指揮者体験も！

公演内容について詳しくは、プログラムちらしをチェック！



貸出カードについて

貸出カードを作ること、図書館の図書・雑誌・AV資料(CD・DVD)を借りることができます！

どんな人が貸出カードを作れますか？

・新潟市・新発田市・阿賀野市・五泉市・聖籠町に在住、または新潟市に通勤・通学の方。

必要な書類はありますか？

・免許証・保険証等の現住所が確認できる書類。

貸出カードで何ができますか？

・図書・雑誌を計10冊、AV資料を計2点、2週間貸出できます。図書・雑誌は次の方の予約が無ければ1回延長できます。

有効期限はありますか？

・有効期限は4年間。4年ごとに更新が必要です。
・期限更新の時期にカウンターでお声がけします。



ようこそ！！
亀田図書館へ

子ども図書室

子どもに本と親んでもらえるよう、絵本や児童書を多数用意しています。

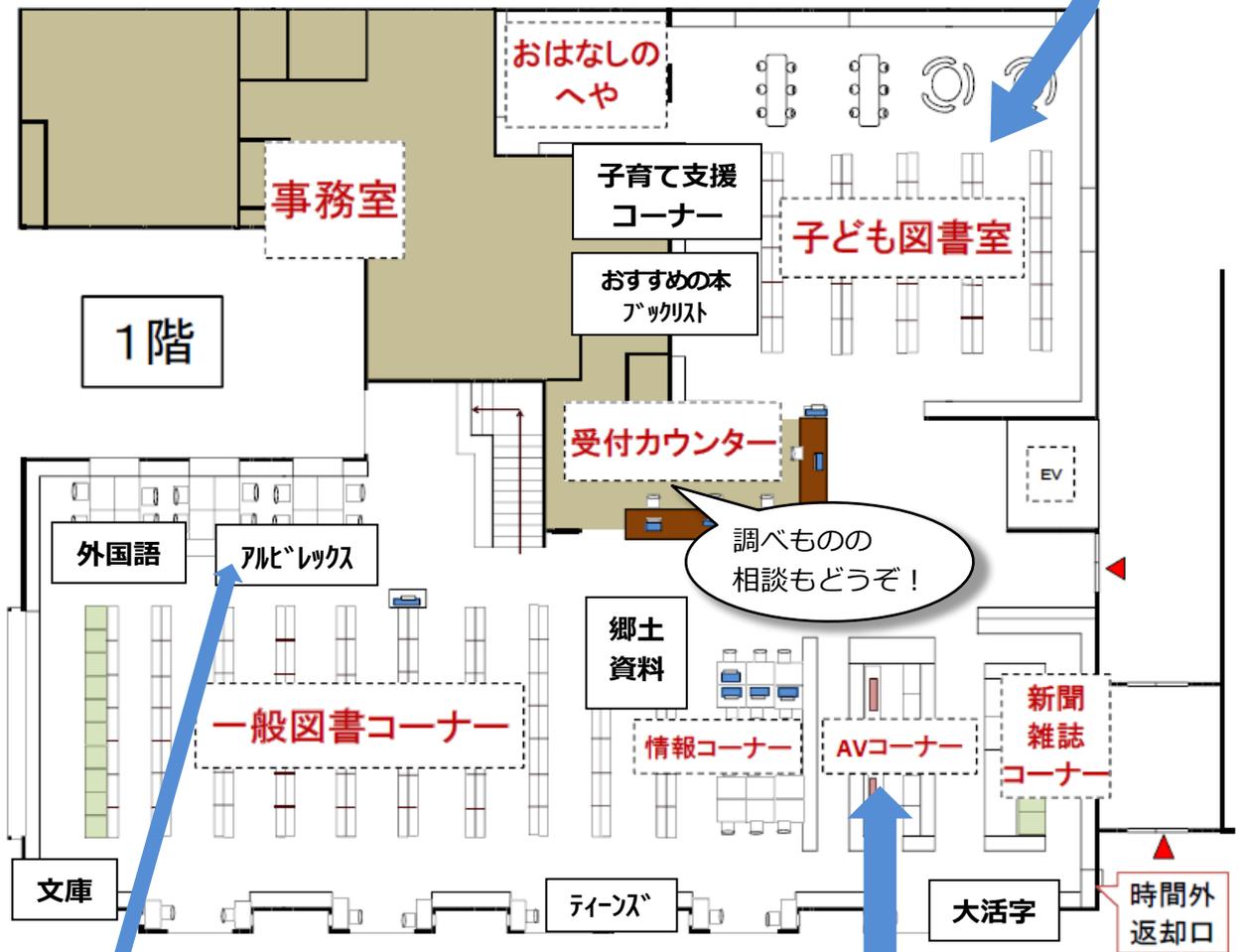
新潟市立図書館の選んだおすすめの本コーナーは、年代別になっていてご家庭で読み聞かせを始めたい方にピッタリ。

子育て本などおうちの方に役立つ資料を集めた子育て支援コーナーもあります。

紙芝居や大型絵本も貸出可能です。

おはなしのじかんを実施中！

- ・第2・4水曜日（赤ちゃんタイムも実施）
- ・第1・3土曜日 以上、10:30～11:00
- ・第4日曜日 11:00～11:30



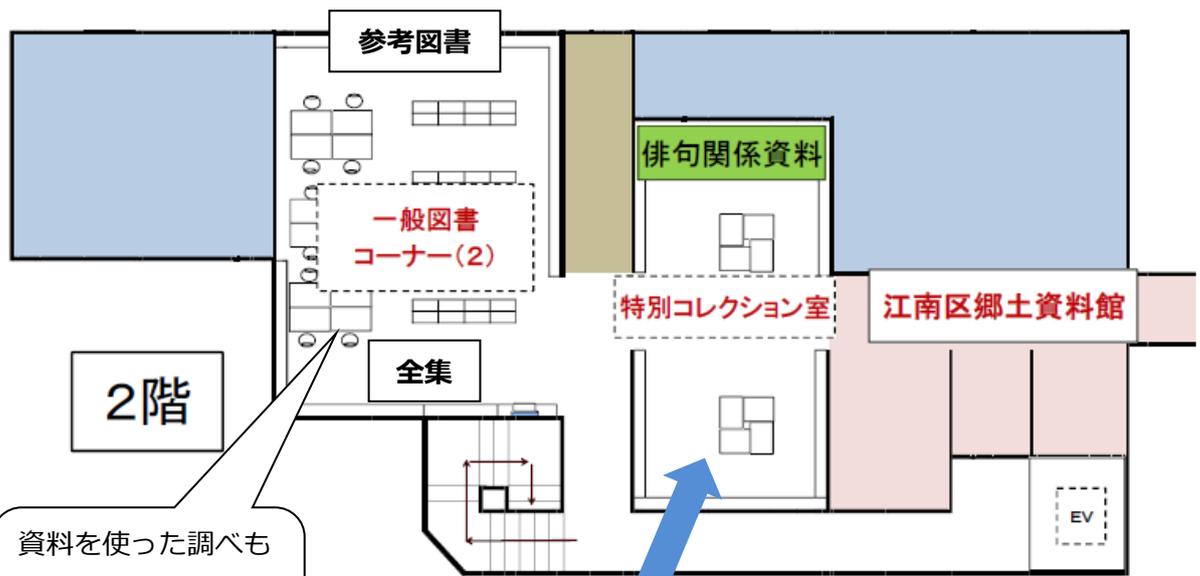
アルビレックスコーナー

デンカビッグスワンスタジアムにもほど近い亀田図書館では、サッカーチームをはじめとするアルビレックスの本やCD・DVD、グッズなどを展示し、応援しています。本、雑誌、CD・DVDは貸出できます。



AVコーナー

AudioVisual (視聴覚) 資料、つまりCD・DVDのコーナーです。CDはクラシック、ポップスから落語まで、DVDは邦画、洋画にアニメなど取り揃えていて、貸出も可能です。また、館内にはDVDを視聴できるブースが3つあります。



資料を使った調べものや読書に最適のスペース!



特別コレクション室

俳句の盛んな江南区。亀田図書館では俳句関連資料を積極的に収集しています。貴重な寄贈資料のほか、郷土の俳句図書や雑誌も多数所蔵。ガラスケース内の雑誌も貸出できますので、ご希望の方は職員にお声がけください。



ブックスタートを行っています!!

ブックスタート
……とは?



絵本は、赤ちゃんにとって大切な優しい語りかけや温かなふれあいを、自然と作り出す手助けをしてくれます。

「ブックスタート」は、絵本を通してお子さんとおうちの方のコミュニケーションを深めてもらおうと、1歳歯科健診にあわせて実施しているものです。

ボランティアがお子さんとおうちの方に絵本を読み、おすすめの本3冊の中から1冊をプレゼント。ご家庭での「ブックスタート」をサポートします。



参加者の声

- ・予想以上に子どもが絵本を楽しんでいた。
- ・もっと絵本を読んであげたいと思った。
- ・どんな本を読み聞かせればいいのかわからなかったので、3冊の中から選べるのは良い。
- ・子供を抱きながら、他の人に絵本を読んでもらえるやり方は良いと思った。



ボランティアの声

- ・ブックスタートをきっかけに、家庭で読み聞かせを始め、ふれあいが深まったと聞くことも。
- ・読み聞かせをして、赤ちゃんの反応があるとこちらも嬉しくなる。
- ・図書館でのおはなしのじかんも、楽しみにしてもらえている。

俳句の窓 第3回

地域の俳人・田村紅子さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介させていただきます。

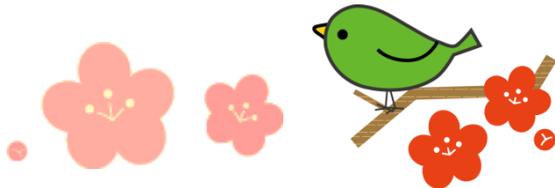
たかはご

高 揆に今日面白くかかりけり

渡辺 軍平 (亀田・船戸山)

※高揆：小鳥を捕る仕掛けのこと

虚子編歳時記の10月の部に、2句採用されている中の1句。この句で亀田も軍平も全国的に有名になったとも言える。



雪降りり人をやさしくして降りり

長谷川 耕畝 (中山)

長年NHKの俳句講座の師として大勢の俳人を育て、私も^{ちよまき}粽句会でお世話になった。句柄はすっきりと^{あか}垢抜けていて個性的である。

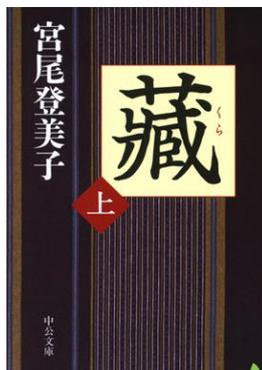
田村紅子さん*本名田村和子。亀田出身。亀山其園(高浜虚子の弟子)に師事。俳誌「雪」「玉藻」同人。「鷗」副主宰。亀田図書館協議会委員として図書館運営に協力。著書：『紅萩』『菊日和』『菊溢れしめ』(句集)

おすすめの本

『蔵』(中公文庫 上・下)

宮尾登美子/著 中央公論社(1995)

大正から昭和の時代の、我が町・亀田を舞台にしたベストセラー。大地主で蔵元の家生まれた主人公は、困難に打ち勝つ強い名の「烈」と命名される。父親の意造、母の賀穂、その妹の佐穂、父の後妻のせきらが中心となり、物語が展開する。烈は眼病を患い失明するという運命を背負い、重苦しい内容となっていくが、烈自身が賢く率直に話をするため、物語がぐいぐい進んでいく。蔵の腐造、若い後添えとの結婚、跡取り息子の事故死、間男による妊娠などさまざまな出来事が起こるが、蔵元を継いだ烈は、まっすぐな愛情で蔵人・涼太への想いを持ってつき進む。新装版カバーの亀田縞が魅力を添える。



文：村山広栄さん(亀田図書館協議会委員)

『てんきのいい日はつくしとり』

石川えりこ/さく・え 福音館書店(2016)

ふきのとうが開きはじめてある晴れた日、ちえちゃん家族と一緒につくしとりへ出かけます。向かったのは、つくしがたくさんはえている秘密の場所。みんなが次々とつくしを収穫するなか、ちえちゃんも大きな王様つくしを見つけたくて、一生懸命探します。

植物や虫たちが、元気いっぱい動き出す様子に春の訪れを感じられるおはなしです。

本の最後では、つくしのおいしい食べ方も教えてくれますよ。

みんなで春をいただきます。



文：永村(亀田図書館)

「かめだ図書館だより」第16号・平成29年3月発行(年4回発行)

編集・発行 新潟市立亀田図書館(新潟市江南区文化会館内)

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話：025(382)4696 FAX：025(381)8003

ホームページ：http://www.niigatacitylib.jp

メールアドレス：kameda.cl@city.niigata.lg.jp